Ⅱ．河川関係事業のポイント

１．平成１９年度予算のポイント

(1)危機管理対策の強化

◇水害・土砂災害への備え

平成１８年７月豪雨災害等、繰り返し発生する風水害、さらに地球温暖化による集中豪雨、台風の巨大化に備えるため、被害の最小化を目標にリスクガバナンスを再構築し、備災、減災、克災※の各段階の対応を充実、強化します。

※災害に立ち向かい克服していく自助の力強い姿勢を表現した造語

◎徳山ダム及び大谷川床上浸水対策特別緊急事業等を完成
◎平成１６年、平成１８年に災害が発生した狩野川、長良川、宮川、天竜川等の再度災害防止対策として河川激甚災害対策特別緊急事業、床上浸水対策特別緊急事業等を推進
◎伊勢湾奥のゼロメートル地帯の大規模浸水対策として、日光川水閘門大規模河川管理施設機能確保事業に新規着手するとともに、危機管理行動計画を作成

■平成16年9月台風21号による宮川の被害状況
（伊勢市辻久留）

■平成14年7月台風6号による大谷川の被害状況
（大垣市荒崎）

【近年発生した豪雨による被害状況】

◇渇水への備え

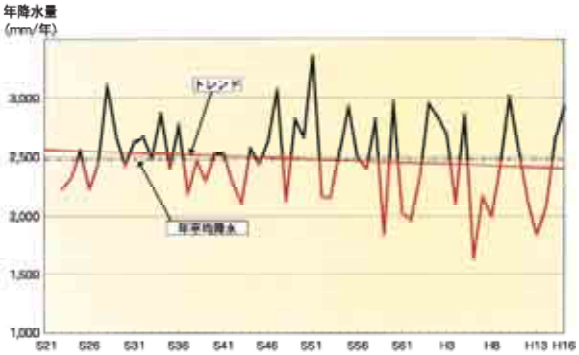
近年の少雨化傾向や年間降雨量のバラツキの拡大により、今以上に渇水の頻発が懸念されるため、都市用水の安定的な供給と河川環境の保全を図ります。

◎徳山ダムを完成させるとともに、木曽川水系連絡導水路の着工に向けた調査を推進（木曽川水系）
◎設楽ダムの基本計画を作成し、新たに用地補償及び準備工事に着手

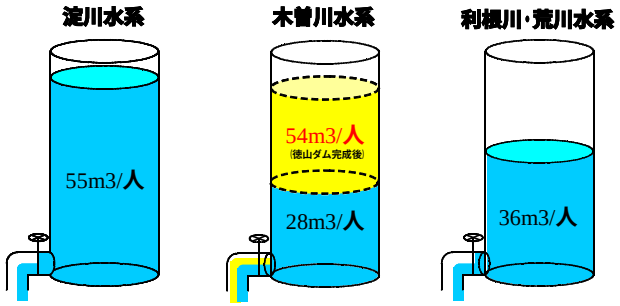
■平　常　時

■渇　水　時

【木曽川水系揖斐川の平常時と渇水時状況（安八郡神戸町）】



木曽川水系の年降雨量の経年変化(S23～H16)



各水系における1人あたりのダム貯水量

◇大規模地盤・地殻変動に伴う大規模地震等への備え

東海、東南海・南海地震等の大地震の発生や火山の噴火、大規模地すべりといった地殻、地盤変動等の地異に対する備えを推進します。

◎日本の交通の大動脈が集中している静岡県庵原郡由比町由比地区で地すべり対策事業に本格着手
◎昨年５月に大規模崩落が発生した岐阜県揖斐郡東揖斐川町東横山地区で地すべり対策事業を推進

(2)美しい国土形成の強化

◇水系環境の再生

人間の生産活動等により疲弊している河川環境を再生するとともに、河川を活かしたまちづくりを進めます。

◎天竜川の万年橋地区・座光寺地区の船着き場等の環境整備事業を完成
◎天竜川の河輪地区の水辺の楽校整備事業に新規着手
◎５年連続水質ワースト１となった佐鳴湖において、新たな水質改善対策を推進

■天竜川座光寺地区完成イメージ
（飯田市座光寺地先）

■天竜川河輪地区整備イメージ
（浜松市河輪地先）

◇流砂系の回復

中部地方の河川では、土砂堆積によるダム機能の低下、海岸侵食などの問題が発生していることから、水源から河口・海岸までを視野に入れ、土砂移動の連続性を確保するため、総合的な土砂管理を推進します。

◎天竜川ダム再編事業について土砂移動調査、環境調査等を実施し、事業計画を策定

総合土砂管理のイメージ

２．平成１９年度　河川関係事業費一覧表

（単位：百万円）

区　　分	平成19年度 事業費 (A)		平成18年度事業費 当初 (B)		平成18年度事業費 補正後		伸び率 (A)／(B)	
	直轄	補助	直轄	補助	直轄	補助	直轄	補助
国土基盤河川	56,672	-	55,471	-	62,589	-	1.02	-
河川事業費	35,844	-	36,329	-	43,079	-	0.99	-
都市水環境整備事業費	3,998	-	3,398	-	3,598	-	1.18	-
ダム建設事業費	16,369	-	15,334	-	15,382	-	1.07	-
建設機械整備費	461	-	410	-	530	-	1.12	-
地域河川	-	29,520	-	28,954	-	31,459	-	1.02
砂防	16,892	11,767	15,684	12,667	15,942	13,623	1.08	0.93
急傾斜地崩壊対策	-	6,232	-	5,924	-	6,024	-	1.05
総合流域防災	-	7,708	-	9,239	-	10,103	-	0.83
特定治水施設等整備事業	-	5,554	-	5,453	-	5,453	-	1.02
小計	73,564	60,781	71,155	62,237	78,531	66,662	1.03	0.98
災害復旧関係事業	273	-	49	-	2,173	-	5.57	-
小計	273	-	49	-	2,173	-	5.57	-
合計	73,837	60,781	71,204	62,237	80,704	66,662	1.04	0.98

注）1．国土基盤河川とは、河川事業費、都市水環境整備事業費、ダム建設事業費、建設機械整備費を含んだ額である。

2．特定治水施設等整備事業とは、住宅宅地基盤特定治水施設等整備事業及び下水道関連特定治水施設整備事業を含んだ額である。

3．平成18年度事業費補正後は、当初＋補正等の合計である。

4．各事業の額は、道路関係社会資本を含んだ額である。

5．「地域河川」は、「国土基盤河川」及び「総合流域防災事業」以外の河川に係る事業である。

新規事業箇所（直轄事業）

天竜川（てんりゅうがわ）　総合水系環境整備事業　　０．７億円
（河輪（かわわ）地区利用推進事業：水辺の楽校プロジェクト）

１．事業箇所
静岡県浜松市河輪（かわわ）地先

２．事業概要
天竜川下流河輪地区は豊かな自然環境が残されており、地元小学校等の自然環境をテーマとした総合学習や地元住民の憩いの場として安全に河川利用を行うための河川環境整備が望まれています。

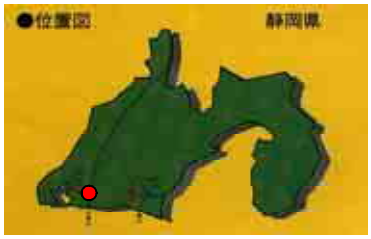
平成１９年度より水辺の楽校プロジェクトの整備構想に基づき、安全に水辺に近づけるための整備等を行っていきます。

①整備期間　：平成１９年度から平成２０年度
②全体事業費：約１．４億円

３．平成１９年度事業内容
階段及び坂路、散策路の整備を実施します。

４．整備効果
地域の身近に存在し、自然が残されている川は、貴重な環境学習や自然体験活動の場となっており、天竜川河輪地区においても今回の整備により、水辺での遊びや自然体験活動の推進が期待できます。

天竜川下流から見た河輪地区



河輪地区整備イメージ図

新規事業箇所（補助事業）

今ノ浦川（いまのうら） 総合内水対策緊急事業　　３．６億円

１．事業箇所
静岡県磐田（いわた）市

２．事業概要
今ノ浦川は、磐田市の市街地を流下する河川で、流域の開発等により内水被害が頻発しており、平成１６年１１月の集中豪雨により磐田駅周辺の市街地で床上浸水５３棟、床下浸水１２９棟の被害を受けました。

このため、平成１６年１１月洪水規模（概ね１／２０）を対象として、床上浸水の防止及び床下浸水の軽減を図るため、平成１９年度より総合内水対策緊急事業に着手し、河道掘削、築堤、橋梁架け替えのハード整備と合わせて減災に向け内水被害想定図の公表などのソフト対策を磐田市等と協働して実施します。

①整備期間　：平成１９年度～平成２３年度（予定）
②全体事業費：２９．０億円

３．平成１９年度事業内容
用地補償、詳細設計を実施します。

４．整備効果
平成１９年度より新たに総合内水対策緊急事業として着手するもので、河道掘削、築堤、橋梁架け替え等により、平成１６年１１月出水（概ね１／２０）により生じた床上浸水被害の解消が図れます。

新規事業箇所（補助事業）

天竜川水系河内沢川特定緊急砂防事業　０．２億円

１．事業箇所

静岡県浜松市龍山町瀬尻地先

２．事業概要

河内沢川は、平成18年7月の梅雨前線豪雨により大規模な斜面崩壊が発生し、災害関連緊急事業にて緊急的に砂防えん堤工が整備されました。地質は、中央構造線などの活断層に近接しているため非常に脆弱で、今後、崩壊地の拡大および土石流の発生が危惧されます。このため、えん堤下流部の渓流保全工を一体的に実施し、土石流が発生した場合でも、中学校および生活道路の安全が確保されるよう緊急的に整備します

①事業期間：平成１９年度（予定）
②全体事業費：０，２億円

３．平成１９年度事業内容

渓流保全工（護岸工）を実施します。

４．整備効果

平成１８年度に実施した砂防えん堤及び平成１９年度に実施する渓流保全工により、土砂流出を未然に防止し、土石流による土砂災害から人命・財産を守り、地域住民の生活の安全確保を図ります。

崩壊状況

新規事業箇所（補助事業）

日光川水閘門　大規模河川管理施設機能確保事業　　１．０億円

１．事業箇所

愛知県飛島村

２．事業概要

日光川は、愛知県西部を流下する延長約４１ｋｍの二級河川です。流域の約 40%が海抜ゼロメートル地帯で、昭和３４年の伊勢湾台風では、高潮により流域内で死者 360 人、浸水戸数 16,590 棟(全壊等含む)の未曾有の被害を受けました。このため、高潮対策及び洪水時の水位低下を目的に昭和３７年に「日光川水閘門」を建設し、現在まで洪水及び高潮被害の低減に重要な役割を担ってきました。

しかし、当施設は設置後４４年以上が経過し、計画流量に対し洪水流下阻害になっており、また、老朽化の進行や地盤沈下などにより機能が低下するとともに、大規模地震に対する耐震性が不足していることから改築は急務です。

このため、流域を高潮及び洪水被害から防護するために、平成１９年度より「大規模河川管理施設機能確保事業」に新規着手し、水閘門本体、護岸工、浚渫工等を実施します。

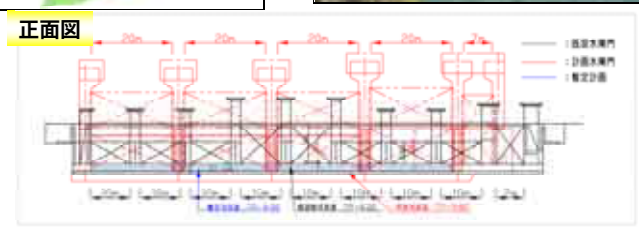
①整備期間　：平成１９年度～平成２９年度（予定）
②全体事業費：２１６億円

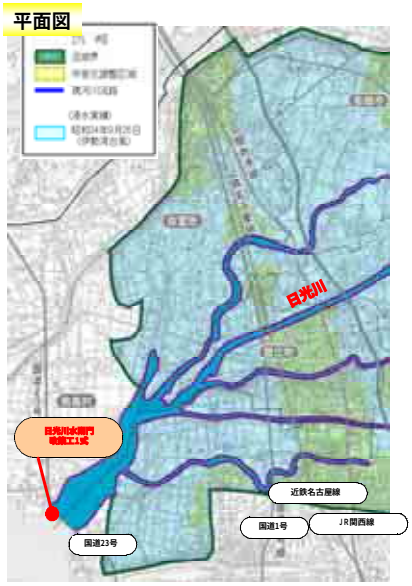
３．平成１９年度事業内容

調査設計等を実施します。

４．整備効果

施設の改築により、流下能力の向上による洪水被害の軽減を図るとともに、地震発生時等でも水閘門の機能を確保することにより、高潮被害の軽減が図れます。





完成予定事業箇所（水機構）

徳 山 ダ ム 建 設 事 業　　９０．９７億円

１．事業箇所

右岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町開田（かいでん）、鶴見（つるみ）
左岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町徳山、東杉原（ひがしすぎはら）

２．事業概要

徳山ダム建設事業は、木曽川水系揖斐川の最上流において、洪水調節、流水の正常な機能の維持、新規利水、発電を目的に建設中の堤高161m、堤体積約13,700千m³、総貯水量660,000千m³の我が国最大級のロックフィルダムです。

平成１９年度は、平成１８年秋より開始した試験湛水を継続して行いダムの安全性等を確認し、平成１９年度末にはダム事業を完成させる予定です。

①事業期間：昭和４６年度～平成１９年度（予定）
②全体事業費：約３，５００億円

３．平成１９年度事業内容

平成１９年度は、試験湛水に伴う観測・保守点検や山林公有地化等を実施します。

４．整備効果

１）．洪水調節
徳山ダムと横山ダムにより、揖斐川の基準地点万石（まんごく）（大垣市）において、100年に１回の確率で発生する洪水流量（基本高水流量6,300m³/s）のうち、2,400m³/sを調節します。これにより、万石地点で最大約2mの水位低下効果を発揮します。

２）．流水の正常な機能の維持
徳山ダム下流の河川流量が不足しているときに、ダムから貯留水を補給をし、万石地点で20m³/sの河川流量を確保します。これにより、沿川の既得用水を安定して取水できるとともに河川環境の維持・保全が図られます。また、渇水対策容量を用いて、木曽川水系の異常渇水時には、木曽三川に緊急水を補給します。

３）．新規利水
地域の水需要に対し、安定的な水供給を図るため、新たに岐阜県、愛知県及び名古屋市の水道用水として最大4.5m³/s、岐阜県及び名古屋市の工業用水として最大2.1m³/sを取水できるようにします。

４）．発電
中部電力（株）において徳山ダム発電所を新設し、最大出力15.3万kWの発電を行い、電力を供給します。

位置図

（完成予想図）

完成予定事業箇所（補助事業）

大谷川　床上浸水対策特別緊急事業　　７．２億円

１．事業箇所

岐阜県大垣市、養老町、垂井町

２．事業概要

大垣市荒崎地区では、平成１４年７月台風６号による洪水で大谷川洗堰から越水した流水により、４８２棟の浸水被害が発生しました。また、平成16年10月台風２３号による洪水でも１３３棟の浸水被害が発生しました。

このため、床上浸水対策特別緊急事業により大谷川、相川、泥川の築堤、護岸工事を行い、浸水被害の軽減を図ります。

①事業期間　　：　　平成１５年度～平成１９年度（予定）
②全体事業費　：　　４９．０億円

３．平成１９年度事業内容

築堤・護岸、樋管、洗堰嵩上げを実施します。

４．整備効果

堤防の嵩上げや護岸工事等を実施することにより、平成１４年7月洪水と同規模の出水に対して家屋の床上浸水被害を解消することが可能となります。

大垣市荒崎地区の浸水状況（H14.7 台風 6 号）

大垣市荒崎地区の浸水状況（H16.10 台風 23 号）

完成予定事業箇所（直轄事業）

揖斐川右岸堤防強化「緊急対策特定区間」　２６．１億円

１．事業箇所

木曽川水系揖斐川（三重県桑名市）

２．事業概要

木曽川水系揖斐川の下流部右岸（三重県桑名市）の堤防は、堤防断面が不足しており、破堤・氾濫の危険性が高い区間となっています。このため、早期に整備を図る「緊急対策特定区間」として位置付け、平成19年度の完成を目指し、堤防強化に努めています。

①整備期間　　平成１５年度～平成１９年度（予定）
②全体事業費　約１００億円

３．平成１９年度事業内容

築堤・護岸、樋門改築等を実施します。

４．整備効果

木曽川水系揖斐川において、築堤・護岸、樋門の改築等を実施することにより、破堤・氾濫の危険性を軽減させます。

揖斐川右岸「緊急対策特定区間」

整備状況（三重県桑名市今島地区）

完成予定事業箇所（補助事業）

大台町流域「激特砂防」事業	３０億円
紀北町流域「激特砂防」事業	８億円

１．事業箇所

三重県多気郡大台町、北牟婁郡紀北町

２．事業概要

大台町・紀北町流域は、三重県の中西部から南部地域に位置しており、流域内は紀伊山地に含まれた起伏の大きな山岳地域です。平成１６年９月の台風２１号豪雨により、斜面崩壊、土石流が発生し激甚な土砂災害が発生したため、平成１７年度より再度災害防止対策として砂防激甚災害対策特別緊急事業に着手しました。

①事業期間：平成１７年度～平成１９年度（予定）
②全体事業費：１１３．３９億円

３．平成１９年度事業内容

砂防えん堤工を実施します。

４．整備効果

砂防えん堤を整備することで、土砂流出を未然に防止し、土石流による土砂災害から人命・財産を守り、地域住民の生活の安全確保を図ります。

完成予定事業箇所（直轄事業）

天竜川　総合水系環境整備事業　　１．８億円
（座光寺・万年橋利用推進事業）

１．事業箇所
長野県下伊那郡高森町万年橋地先　他

２．事業概要
天竜川では地元自治体、地元観光公社等の取り組みによりカヌーやラフティングなどの河川利用が増加してきており、安全な発着場の整備が望まれています。

平成１８年度より新たな船着き場整備を行うことにより、既設の船着き場と合わせて利用可能範囲を広げ初心者から上級者までの幅広い利用が可能となるよう事業を実施しています。

①整備期間　：平成１８年度から平成１９年度（予定）
②全体事業費：約３億円

３．平成１９年度事業内容
万年橋地区の船着き場整備及び座光寺地区の高水敷保護を実施します。

４．整備効果
座光寺地区及び万年橋地区において、カヌーやウォータープレイ等の発進場所としての船着き場を整備することにより河川利用面での安全性が向上し、一層の利用者の増加が期待できます。

座光寺・万年橋地区の整備により、初級者から上級者までのコースなど多様なコース設定が可能となります。

座光寺地区整備イメージ

主要事業箇所（直轄事業）

木曽川水系連絡導水路（実施計画調査）　１４．６億円

１．事業箇所

位　置：呑口（のみくち）：岐阜県揖斐（いび）郡揖斐川町　吐口：岐阜県加茂（かも）郡坂祝（さかほぎ）町
河川名：呑口：木曽川水系揖斐川　　吐口：木曽川水系木曽川

２．事業概要

木曽川水系連絡導水路は、異常渇水時において愛知県等における渇水被害を軽減するため、徳山ダムの渇水対策容量に貯留した水を揖斐川から木曽川及び長良川に導水します。

また、愛知県及び名古屋市において水道用水等を確保するため、徳山ダムで開発した水道用水等４．０㎥/sを揖斐川から木曽川に導水します。このため、20㎥/sの導水路を整備します。

①事業期間　：（事業計画策定中）
②全体事業費：約９００億円

３．平成１９年度事業内容

平成１９年度は、導水ルートの確定、周辺地域の環境の現況を把握するための調査等を実施します。

４．整備効果

木曽川本川において河川流量が枯渇した平成６年渇水においても、木曽川大堰下流地点で４０㎥/sを確保することが可能となります。これにより、渇水時でも安定した河川流量を保つことができ、河川環境の保全を図ることが可能となります。

また、木曽川水系では、過去３３年間に３４回の取水制限が行なわれていますが、小雨化傾向にある近年においても１０年に１回発生する規模の渇水時に必要な都市用水を確保することが可能となります。

主要事業箇所（補助事業）

東横山地区　　特定緊急地すべり対策事業　２．０億円

１．事業箇所

岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山

２．事業概要

平成１８年５月１３日に大規模な地すべりが発生し、崩落土塊により直下の一級河川揖斐川の河道を一時的に閉塞しました。さらに、河道閉塞に伴う洪水氾濫により下流域に多大な被害を及ぼす恐れがあったため、災害関連緊急地すべり対策事業と河川災害復旧事業により、斜面の安定と河道拡幅を実施しました。再度災害防止対策として、平成１８年度より特定緊急地すべり対策事業に着手しました。

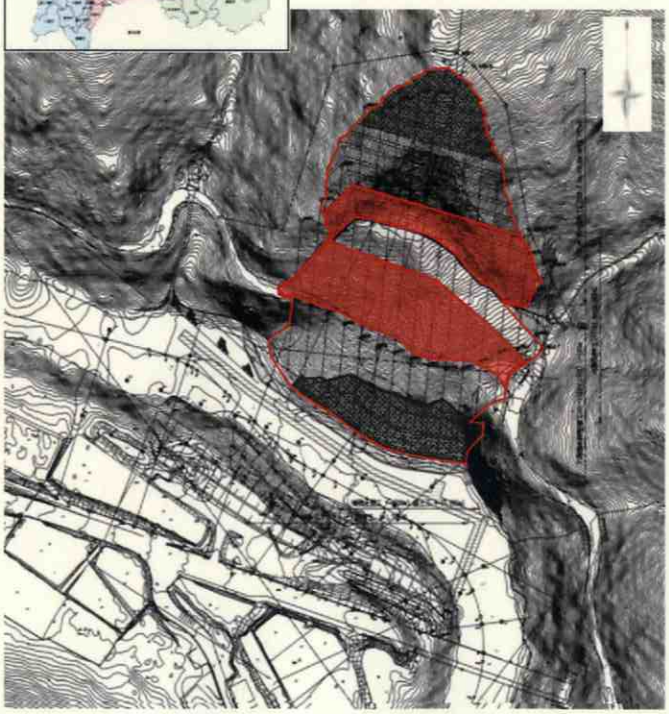
①事業期間　　平成１８年度～平成２０年度（予定）
②全体事業費　１９．０５億円（災関を含む）

３．平成１９年度事業内容

法面保護工を実施します。

４．整備効果

対策工の実施により、地すべりの再発を防止し、下流域を保全します。



主要事業箇所（直轄事業）

天竜川ダム再編事業（実施計画調査）　９．５億円

１．事業箇所（佐久間ダム）

右岸：愛知県北設楽郡豊根村
左岸：静岡県浜松市佐久間町

２．事業概要

天竜川ダム再編事業は、既設利水専用ダム（佐久間ダム）を活用し、貯水池内の掘削により治水容量を新たに確保し、天竜川下流の洪水防御を図るとともに、貯水池内に堆積する土砂を下流に流下させて、土砂移動の連続性を確保し、侵食海岸等の保全に資する事業です。

実施計画調査として、恒久的な対策のための技術開発を進めるとともに、下流への土砂供給による効果を評価するための基礎データの蓄積・充実、下流河道・海岸の土砂動態及び自然環境の変化等に関する検討を進め、事業計画を立案します。

①整備期間　：（事業計画策定中）
②全体事業費：（事業計画策定中）

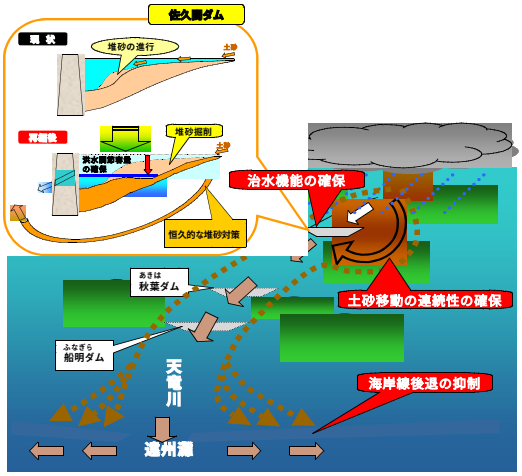
３．平成１９年度事業内容

土砂移動調査・環境調査・事業計画調査等諸調査を実施します。

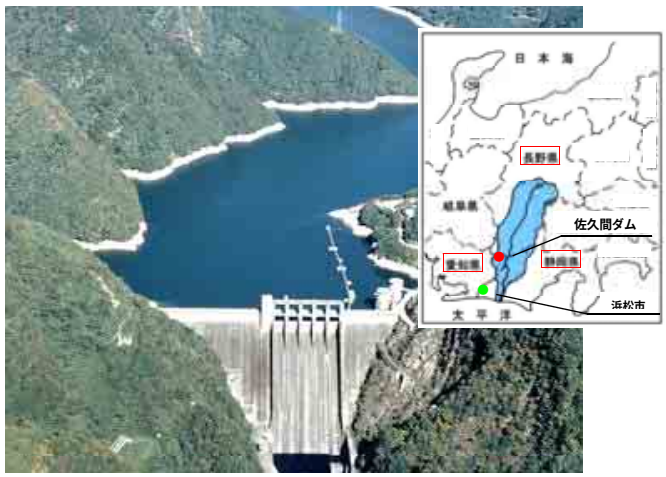
４．整備効果

佐久間ダムにより新たに洪水調節を行い、天竜川下流部の治水安全度の向上を図ります。

土砂管理上の問題点が顕在化している天竜川中下流域において、ダムからの排砂により、佐久間ダムから河川、海岸までの流砂系の回復および、適正な土砂移動を確保します。



■事業のイメージ図



■佐久間ダム

主要事業箇所（直轄事業）

由比地区　地すべり対策事業　　１５．０億円

１．事業箇所

静岡県庵原郡由比町由比地区（サッタ山）

２．事業概要

日本の大動脈（東名高速道路、国道１号、ＪＲ東海道本線及び情報通信網等）が集中している静岡県庵原郡由比地区において、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることに鑑み、当該地区の地すべり対策を推進するため、平成１７年度より地すべり対策事業に着手しています。

①整備期間　平成１７年度～平成３６年度（予定）
②全体事業費　約３００億円

３．平成１９年度事業内容

工事用道路、横ボーリング工、集水井工を実施します。

４．整備効果

対策工（抑制工、抑止工）の実施により、地すべりの発生を防止し、保全対象である家屋や重要交通網等を地すべり被害から守ります。

■ブロック積擁壁の亀裂

■地すべりと併走する重要交通施設

■由比地すべり全景

主要事業箇所（補助事業）

佐鳴湖（さなるこ）　統合河川環境整備事業　　２．９７億円

１．事業箇所
静岡県浜松市（はままつし）

２．事業概要
佐鳴湖の浄化対策については、昭和６０年度から事業に着手し、平成１６年６月には第２期水環境改善緊急行動計画を策定し湖内対策の底泥浚渫や流域対策の下水道整備等、様々な対策を実施してきました。

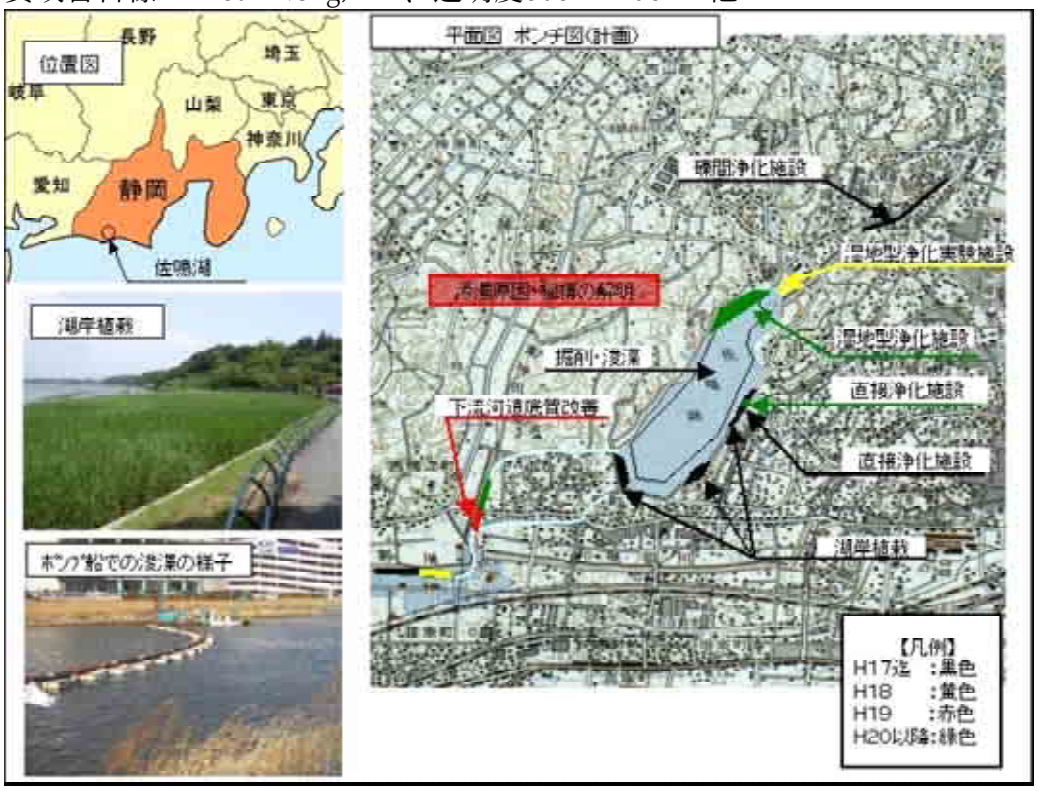
これによって、以前に比べ湖水の悪臭や濁りが少なくなるなど水質は改善しつつあるものの、平成１７年度水質調査結果では５年連続で湖沼の全国ワースト１となりました。

①整備期間　：昭和６０年度から平成２３年度（予定）
②全体事業費：約６３億円

３．平成１９年度事業内容
下流河道で浚渫・覆砂による底質改善を図るとともに、上記計画に加え、より詳細な「汚濁原因・機構の解明」に着手します。

４．整備効果
汚濁の著しい佐鳴湖において地域との連携をより強め、魚類等多種多様な生物の生息環境の保全・創出を図りながら、快適な水環境の改善を目指します。

水質改善目標　　COD＜8mg／ｌ、透明度50cm～70cm　他



主要事業箇所（直轄事業）

設楽ダム建設事業	１９．０億円

１．事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町

２．事業概要

設楽ダムは、豊川水系豊川の上流部において、洪水調節、流水の正常な機能の維持、新規利水を目的とする多目的ダムで堤高129m、総貯水容量9,800万m³の重力式コンクリートダムです。

①整備期間　：昭和５３年度～平成３２年度（完成予定）
②全体事業費：基本計画策定中

３．平成１９年度事業内容

引続き地質調査、環境調査、用地調査等諸調査を実施します。
水没者への対応を最優先に考え、用地補償及び準備工事に着手します。

４．整備効果

１）．洪水調節

豊川の基準地点石田において基本高水7,100m³/sのうち1,000m³/sを調節します。

２）．流水の正常な機能の維持

設楽ダム下流の河川流量が不足しているときに、ダムから貯留水を補給することにより、沿川の既得用水を安定して取水できるとともに河川環境の維持・保全を図ります。

３）．水道用水やかんがい用水への供給

地域の水需要に対し、安定的な水供給を図るため、新たに東三河地域へ約0.5m³/sの水量を供給します。

■　位　置　図

■設楽ダム建設予定地

主要事業箇所（補助事業）

水場川（すいば）　総合内水対策緊急事業　　４．０億円

１．事業箇所

愛知県名古屋市、清須（きよす）市

２．事業概要

平成１２年の東海豪雨による被災を契機とした激特事業により水場川では排水機場の排水能力を増強しましたが、平成１６年７月の集中豪雨により中流部の住宅密集地において、再度床上浸水被害等が生じたことから早急な対応が必要となりました。

このため、既設ポンプの有効活用を図るため河道整備などのハード整備と併せて、内水被害危険度ランク図の作成公表、緊急避難態勢の整備などのソフト対策を緊急的に行うことで中流部の浸水被害を軽減します。

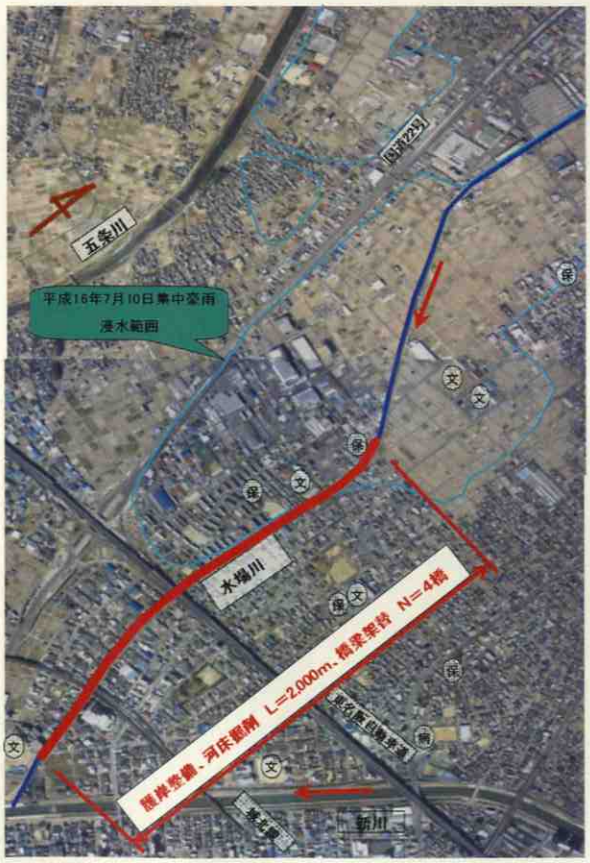
①整備期間　：平成１８年度～平成２２年度（予定）
②全体事業費：２０．０億円

３．平成１９年度事業内容

河道掘削、護岸整備等を実施します。

４．整備効果

河道整備及びハザードマップを作成するなどのソフト対策を緊急的に行うことにより、中流部の住宅密集地において浸水被害の軽減が図られるなど治水の安全度を高めることができます。



主要事業箇所（直轄事業）

宮川　床上浸水対策特別緊急事業（中島・大倉地区）　２３．７億円

１．事業箇所

三重県伊勢市中島・大倉地区

２．事業概要

宮川右岸に位置する中島・大倉地区では、平成６年９月台風第２６号及び平成１６年９月台風第２１号の来襲に伴い、甚大な浸水被害が発生しました。

特に平成１６年９月台風第２１号では、床上浸水１１４棟、床下浸水４５棟の大規模な浸水被害が発生しました。

このため、緊急的な対策として平成１６年度より宮川右岸無堤区間の整備に着手しました。

平成１８年度からは、床上浸水対策特別緊急事業により整備を図り、度重なる床上浸水被害を解消します。

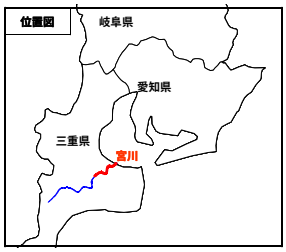
①整備期間　　平成１８年度～平成２２年度（予定）
②全体事業費　　約１１４億円

３．平成１９年度事業内容

用地取得、築堤、樋管等を実施します。

４．整備効果

無堤区間の堤防整備等を実施することにより、甚大な被害をもたらした平成１６年９月洪水と同規模の出水に対して家屋の浸水被害を防ぐことが可能となります。



■被害状況
（伊勢市辻久留）

■H16.9台風第21号における宮川出水状況

■床上浸水対策特別緊急事業実施区間

主要事業箇所（補助事業）

船津川（ふなつがわ）　河川激甚災害対策特別緊急事業　　１６．５億円

１．事業箇所

三重県北牟婁郡紀北町（旧海山町）

２．事業概要

平成１６年９月の台風２１号に伴う記録的豪雨による出水により、船津川の水位が上昇し、船津川からの越水により紀北町海山区相賀地区で大きな浸水被害が発生しました。

このため、激甚災害対策特別緊急事業により船津川の築堤、河道掘削等を行い、浸水被害の解消を図ります。

①整備期間　：平成１６年度～平成２１年度（予定）
②全体事業費：７０．０億円

３．平成１９年度事業内容

築堤、河道掘削、護岸、樋門等を実施します。

４．整備効果

築堤や河道掘削などを行うことにより、計画高水流量を安全に流下させ、浸水被害を軽減します。

↑紀北町役場（旧海山町役場）内
駐車場の浸水状況

主要事業箇所（直轄事業）

天竜川河川激甚災害対策特別緊急事業　　１３．４１億円

１．事業箇所

天竜川（長野県伊那市・南箕輪村・箕輪町・辰野町）

２．事業概要

天竜川では、平成18年7月豪雨により、天竜川の水源である諏訪湖周辺で浸水家屋2,541棟に及ぶ被害が発生しました。大動脈のJR中央本線や国道20号も37時間に渡り全面通行止めとなり、社会経済にも大きな影響を与えました。また、諏訪湖の下流でも天竜川（国管理区間）の堤防が決壊する等、広い範囲で被害が生じました。

このような状況を踏まえ、長野県による諏訪湖河川激甚災害対策特別緊急事業等とともに、天竜川河川激甚災害対策特別緊急事業を実施し、再度災害の防止を図ります。

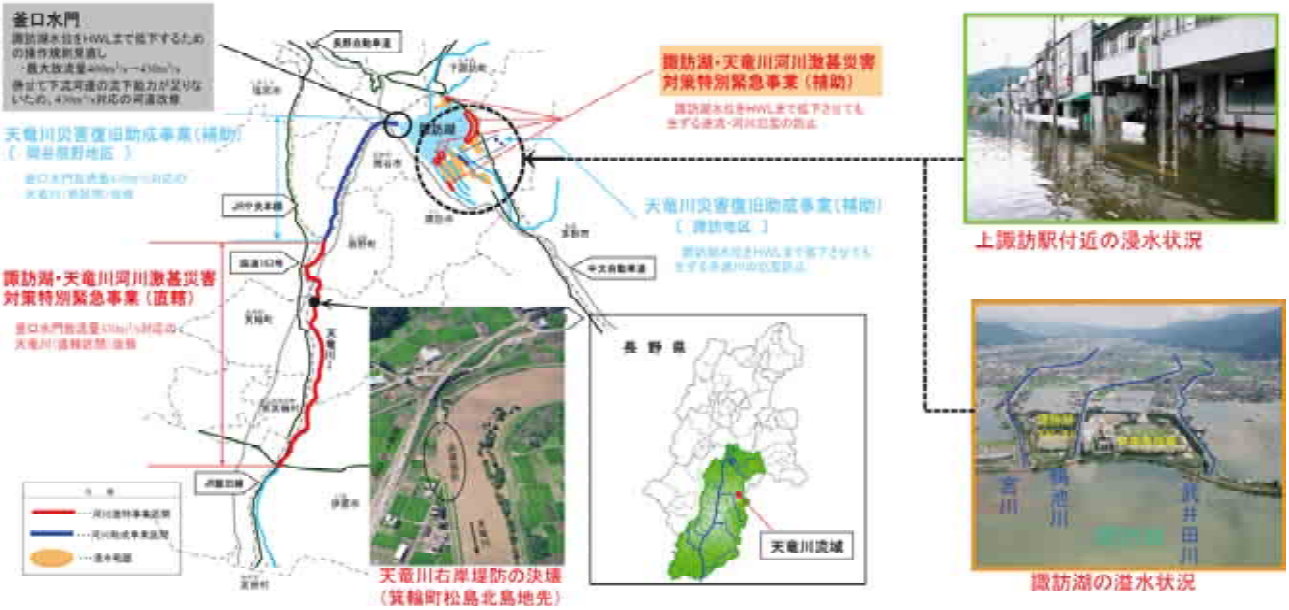
①整備期間　　平成１８年度～平成２２年度（予定）
②全体事業費　８４億円

３．平成１９年度事業内容

築堤・護岸・河道掘削等を実施します。

４．整備効果

天竜川において、築堤、護岸、河道掘削等を実施することにより、諏訪湖周辺の浸水被害や天竜川で破堤・氾濫の危険性を軽減することが可能となります。



主要事業箇所（直轄事業）

天竜川水系砂防事業「大河原床固工群」　５．４億円
（水辺の楽校プロジェクト）

１．事業箇所

長野県下伊那郡大鹿村大河原地区

２．事業概要

昭和３６年の伊那谷災害では、梅雨前線豪雨により小渋川流域の各所で崩壊が発生し、おびただしい土砂が流出したため大河原地区を中心に未曾有の土砂災害となり、住宅倒壊３９棟・死者４２人など壊滅的な被害を受けました。

このため、平成６年度より大河原床固工群の整備を進めるとともに、水辺の楽校プロジェクトとしても関係機関と連携を図り、親水性や景観にも配慮した施設整備を進めています。

①整備期間　　平成６年度～平成２２年度（予定）
②全体事業費　約１２０億円

３．平成１９年度事業内容

１号帯工（右岸側)、青木２号床固工（右岸側)、護岸工を実施します。

４．整備効果

床固工の整備により、渓岸・渓床侵食及び河床堆積土砂の二次移動を防止することができ、土砂災害に対する安全度の向上を図ることができます。

■中央構造線博物館

■大鹿小学校児童による野外活動

■整備が進む大河原床固工群